

# 清潔WALL® 3分つや有

汚れがつきにくく、落としやすい、日本ペイント イチ押し内装塗料!!

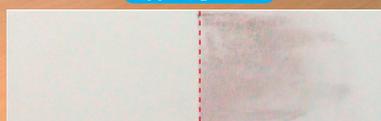
1

従来内装塗料に比べ、手あか汚れなどの生活汚れがつきにくく、また、容易にふき取りが簡単です。

汚染除去性能比較試験

ホワイトボードマーカー

油 汚 れ



清潔WALL

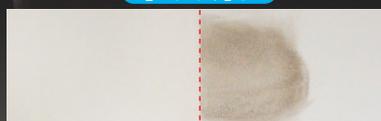
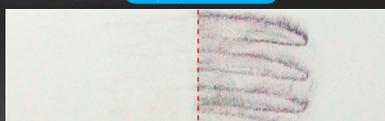
従来内装塗料

清潔WALL

従来内装塗料

クレヨン

手あか汚れ



清潔WALL

従来内装塗料

清潔WALL

従来内装塗料

## 試験方法

・各種の汚れを付着させ、中性洗剤を含ませた布でふき取り、さらに水ぶきを行う。

※乾燥条件や用途により実際とは若干の差がでることがあります。

※「清潔WALL」の乾燥が不十分な場所では、性能を十分に発揮しない可能性があります。その為、低温時や湿気のかもるような場所では数日間乾燥が必要となります。

※長期間汚れを放置すると除去が困難となりますので、なるべく早めに中性洗剤などでふきとってください。

2

特殊エマルジョンの採用により、塗装中に嫌な臭いがせず、塗装後も嫌な臭いが残りません。

3

優れた抗菌性を持ち、院内感染や食中毒の原因となる菌を防ぎます。

(大腸菌[O157を含む]メチシリン耐性黄色ぶどう球菌(MRSA))

また、建物に発生するカビの繁殖を抑制します。

4

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレンなど各省庁の規制指針に該当する化学物質を配合していません。

5

「清潔WALL下塗」が可塑剤移行を抑制するので、塩ビク回スの上にも塗装することができます。

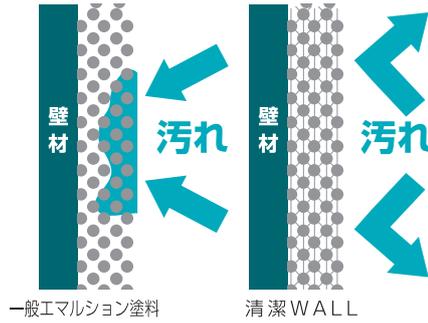
6

水性塗料[F☆☆☆☆]で有害重金属(鉛・クロムなど)を配合しないので、環境・健康にやさしい塗料です。

# 清潔WALL 汚れが付きにくく、落としやすい

## 緻密な塗膜が、様々な汚れの進入を抑制する。

疑似架橋した緻密で極性の高い清潔WALLの塗膜は、油性の生活汚れの付着や浸透を妨げ、きれいな状態を長期に維持します。



### ■用途

内壁面(コンクリート、モルタル、けい酸カルシウム板、プラスターボード、塩化ビニルクロス)の新設・塗り替え塗装

### ■商品体系

塗料名	容量	色相	つや
清潔WALL 下塗	16kg	白	-
清潔WALL	15kg	淡彩各色	3分つや程度

### ■塗装仕様 (新設・改修)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	清潔WALL 下塗	1	0.10~0.12 注)	2時間以上	水道水	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り	清潔WALL	2	0.14~0.15 注)	2時間以上	水道水	0~5	はけ・ウールローラー

・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。  
 ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)  
 ・新設の軽力板など、吸い込みの激しい素材に対しては、下塗り工程の前に水性力チオンシーラーを塗装してください。  
 ・はげしやヤニ(タノコ)、しみなどの汚染がある場合、下塗り工程の前に水性シミ止めシーラーを塗装してください。  
 ・カタログに記載されている内容は一般的な環境 下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場 部位に塗装される場合は事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願い申し上げます。  
 注)・清潔WALL 下塗の塗付け量は、0.08kg/m<sup>2</sup>/回です。・清潔WALL Lの塗付け量は、0.12kg/m<sup>2</sup>/回です。・使用量:被塗表面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量・塗付け量:被塗表面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

### 警告

### 危険有害性情報

- ・強い眼刺激
- ・吸入すると有害

### 安全衛生上の注意事項(清潔WALL 白)

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 粉じん/塵/ガス/蒸気/スプレーの吸入を避けてください。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください
- 気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 口をすいでください。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けてください。
- 施設にて保管してください。

横断禁止

- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
- 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる時には、適切なり具で、垂直に持ち上げ落下に十分注意ください。(偏荷重になると取っ手が外れ落下事故の危険があります)
- 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すや環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

- 詳細な内容、表示以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

### ■注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)

●**清潔WALL 下塗**  
 ・乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。  
 ・つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。  
 ・吸音板塗替え用顔料分塗材(シールマット II などの)塗替えには使用できません。

●**清潔WALL (上塗り)**  
 ・**仕上がり肌は、塗料粘度の影響を受けやすいため、レベリングが悪い時は、やや多めに希釈してください。また、規定の希釈率を超えて希釈すると、だれ肌になるため希釈率の上限は超えないようにご注意ください。**  
 ・汚染物質付着後、長時間放置すると汚染除去性能が劣化することがありますので、なるべく早めに中性洗剤でお拭き取りください。  
 ・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。  
 ・塗装直後から頻りに人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。  
 ・本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗りと2回塗りでは仕上がり感が異なります。  
 ・汚染除去性は、乾燥条件、使用量、塗り回数などにより若干差がでる場合があります。  
 ・可塑剤が多く含まれる塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムバック、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。  
 ・表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はく水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。  
 ・開缶後は皮張りしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。

【仕様全般】  
 ・つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやムラが出やすいので、面を切って通して塗装してください。  
 ・つや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて底層の沈降物を十分にかくはんし、均一な状態でご使用ください。  
 ・つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかくはんしながらご使用ください。  
 ・絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。

・塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生する恐れがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き取って除去してください。  
 ・色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。  
 ・乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。  
 ・動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。  
 ・塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。  
 ・繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常に脆弱な素材には塗装できません。  
 ・素地の乾燥は十分に行ってください。  
 ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件下で塗装してください。  
 ・塗装場所の気温が5℃未満、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。  
 ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。  
 ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。  
 ・塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。  
 ・大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。  
 ・はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。  
 ・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。  
 ・塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。  
 ・汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。  
 ・カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常時置かれるような場所には塗装しないでください。  
 ・布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス(シリコン加工され水をかけると著しくはくクロス)には塗装できません。  
 ・塩ビクロスで可塑剤移行が考えられる場合は所定の仕様で塗装してください。  
 ・使用前に内容物が均等になるようによくかはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密閉してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。  
 ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
 ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。

## 日本ペイント株式会社

北海道支店	☎ 011-370-3101	近畿支店	☎ 06-6455-9608
東北支店	☎ 022-232-6712	中国支店	☎ 082-281-2180
関東支店	☎ 03-5479-3614	四国支店	☎ 0877-56-2346
北関東信越支店	☎ 03-5479-3614	九州支店	☎ 092-751-9861
中部支店	☎ 052-461-1960		

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。  
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
 ●©Copyright 2019 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.  
 ●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
 NP-X043  
 TK190602T  
 2019年6月現在